



佐世保市中学校体育大会に向けて

明日から、いよいよ市中体が始まります。大会に向けて、4日（火）に選手激励式を行いました。それぞれの部で、あるいは個人で大きな目標にしてきた大会です。特に、多くの3年生にとっては、中学校生活最後の大会となります。

「瞬間は習慣」です。勝負を左右する「瞬間」に力を発揮するためには「習慣（日頃の練習や生活態度）」がものを言います。これまでの練習の成果を存分に発揮し、悔いの残らない大会にしてください。試合中、どんなに追い込まれても、弱気にならずに、今までやってきた練習や自分の力を信じて、その一瞬に全力を出し切ってきてください。そして、勝敗に関係なく相手に敬意を払い、最後まで礼儀やマナーを守ることを忘れないでください。

生徒・応援の皆さんは大野中学校の生徒としての自覚と品格をもって、「大野一心」で佐世保市中学校体育大会に参加しましょう。

大野中学校の選手の皆さんの健闘を祈ります！

保護者の方へのお知らせとお願い

1 観戦について

- 本大会に向けて、子どもたちは日々の練習を頑張ってきました。大会役員や各顧問の先生方は、大会当日も大会参加生徒全員が素晴らしい環境の下で心置きなくプレーできるように、運営に努めます。このことをご理解いただき、心に残るような大会になるようご協力をお願いします。
- 動画・画像の撮影は、競技別の要項・申し合わせ事項等を厳守してください。また、撮影した動画及び画像を SNS 等ネット上へ公開することは一切おやめください。

2 試合結果について

- その日の全日程が終了後、ホームページにアップしていきます。ホームページの掲載が終わりましたら、安心メールでお知らせしますので、ご確認ください。「佐世保市民スポーツ情報サイト PLAY!」でも掲載されます。

3 雨天の場合

- 天候も心配されるところです。生徒は雨天であっても登校です。雨天による競技の順延や試合開始時間の変更等があった場合は、安心メールやホームページでお知らせします。

4 一般生徒及び敗退した部の生徒の動向

- 8日（土）～10日（月）は、ジャージ（体操服）登校です。11日（火）は振替休業です。
- 弁当については、1、2年生は3日間とも必要ありません。3年生は8日（土）、9日（日）は必要ありませんが、10日（月）に応援へ行く場合は必要です。その際は、9日（日）に連絡します。
- 1、2年生は3日間とも3時間授業（自習課題等を使った学習）後、4校時目に帰りの会を行い下校とします。ただし、それぞれの競技会場での応援はできませんので、下校後、校区外へ遊びに行ったり競技会場へ行ったりしないよう、また15:30までは自宅で学習するようにご家庭でもご指導をお願いします。
- 3年生は8日（土）、9日（日）は1、2年生と同じ時程です。また、競技会場での応援はできない等の注意事項は1、2年生と同じです。10日（月）は勝ち残っている競技の応援に行きます。応援競技ごとに時間や会場が違いますので、詳細は9日（日）に安心メールやHP等で連絡します。

5月29日(水)に表彰伝達を行いました。市中体も明後日から開催されます。これまでの活躍を糧(かて)にして、頑張ってきてください。今後ますますの活躍を期待しています！
以下に紹介します(敬称略)。

- 令和6年度佐世保市小中学生卓球大会(中学女子シングルス) 優勝 3-2 大坪 真陽
- // 準優勝 3-5 田中 汐南
- // 3位 3-3 橋本 望乃
- 令和6年度佐世保市陸上競技選手権(女子中学走高跳) 2位 3-5 田嶋 恋美
- // (男子中学100m) 1位 2-5 坂本 遼介
- スポーツ優秀奨励賞(水泳) 2-3 金子 和奏
- 第28回長崎県中学生空手道選手権大会(女子団体組手) 優勝
- 第20回うきは市民スポーツ大会空手道競技(中学生女子組手の部) 優勝 2-5 野中 美里
- 令和6年度第29回ゼロススポーツ杯 兼市中団体プレ大会(男子バドミントン団体Aパート) 3位
- 令和6年度第33回 Mizuno 杯兼市中体個人プレ大会
(男子バドミントンシングルス) 3位 3-4 黒木 響介
- // (男子ダブルス) 3位 3-3 高濱 昊樹 3-1 伊志嶺 琉斗
- 第74回佐世保市中学生バスケットボール選手権兼古賀旗争奪大会(女子) 準優勝
- 第17回中学校バスケットボール和泉式部大会(女子) 優勝
- 令和6年度佐世保市中学生春季バレーボール大会(男子) 優勝
- 第8回読売西部本社杯柔道大会(中学女子の部) 優勝 3-1 牟田 桜雪
- // 2位 2-2 浦田 鈴菜

校長のひと一言⑥

先日早稲田大学における不正入試が報道されていました。受験生が使用したのは、カメラや通信機能付きのメガネ「スマートグラス」と言われるものです。私は実物を見たことはないのですが、報道を聞いてドラえものの道具のようだなと思いました。すると、ある新聞にドラえものことを引用して記事が載っていました。紹介します。

「明日のテストで0点になるのは、どうしても避けたい。のび太は、タイムマシンで1週間後の出木杉くんの部屋に忍び込む作戦をたてる。返却された100点の回答を写せばいい。(中略)ところが部屋へ行くと、もう一人の自分が現れ、こう説く。『他人の答案を見て百点取ろうなんて。セコいこと考えるなよ』。のび太は言い返す。『出木杉の答案を見るしかぼくの生きる道はないんだ』。

この後、のび太はどうしたと思いますか？

記事は続きます。

「結局、のび太はやれるところまでやるしかない、と思い直す。ドラえもんが取り出した道具は『時門(じもん)』。水門のように時の流れをゆっくりにする。徹夜で勉強してテストは65点。『自分だけの力でここまでやれた』とのび太は泣いた。青年よ。てんとう虫コミックスの第37巻をどこかで手に取ってほしい。ひみつ道具はないけれど、やり直す時間は、まだたっぷりある(朝日新聞 天声人語 <R6.5.17>)」。

ドラえもんが選定した道具の絶妙さ。しかも、100点ではなく65点というのがいいですね。さすが、作者の藤子・F・不二雄氏です。小さい頃私も夢中になって読んだドラえもん。また読んでみたくなりました。他人の力を借りて、何かを成し遂げたとしても達成感や成就感を得ることはないのではないのでしょうか。

明日からは市中体です。これまでの練習で培った自分たちの力で、悔いのない満足のいく試合をしてきてください！ガンバレ大野中！